

神戸の村と古文書Ⅲ－摂津国八部郡花熊村

2026年4月25日（土）～ 2026年6月14日（日）

地域の歴史を物語るためには、現在まで伝えられてきた古文書（各種の記録や証文など）の存在が欠かせません。神戸市域には多くの古文書が残されており、博物館も収集を行っています。

今回の展示では、その一端として、花熊村（現神戸市中央区）で作成された絵図と古文書をご紹介します、神戸に生きた人々の営為をたどります。



民系録

[出品資料]

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	作者	材質技法	員数	時代
	民系録		紙本墨書	38巻（40巻のうち）	安政3年（1856）
	摂州八部郡福原庄・兔原郡葺屋庄生田川通東境山論一件		紙本墨書	1冊	寛政4年（1792）写 原本：江戸時代前期～中期
	乍恐謹而言上		紙本墨書	1点	享保8年（1723）9月
	譲り渡し申畑地之事		紙本墨書	1点	寛政7年（1795）2月
	人別請取一札		紙本墨書	1点	文政10年（1827）9月